



# 三事研広報 No.6

三重県公立小中学校事務研究会

H26.3.28 発行

発行者 釜須 雅子  
編集責任者 福西 真美



早いもので、今回の広報が今年度の最終号となります。今年度も三重県公立小中学校事務研究会の活動にご参加いただき、また、三事研活動アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいた貴重なご意見は、来年度以降の活動に引き継いでいきたいと思っております。今後とも、三事研の活動にご協力をよろしくお願いいたします。

## 各部活動のまとめ

### 研究部

「教育活動活性化に向けた学校事務の実現」を研修主題とした「第6期中期研修計画」がスタートして5年目になりました。本年度は昨年度に引き続き「協働とは何か」を考えながら実践を積み重ね、「伝えよう 伝えあおう」を提案してきました。現在策定をすすめている「教育活動活性化計画」は、事務職員が大切にしたい3つの領域「情報」「財務」「安全」と、学校組織として大切にしたい4つの視点「協働体制の構築」「資源の活用・充実」「資質向上・人材育成」「危機管理体制の徹底」を活用して、事務職員が日々の気づきにより工夫や提案を行い、学校組織に働きかけることは学校を活性化させているか役員を中心に検証しました。さまざまな実践が交流され、学校事務職員自らが意識を持って教職員・その他関係機関などと連携し、学校教育活動を推進していく重要な役割を担っていることが確認できたと思います。

今後さらに実践、交流を深め、策定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

### 研修部

第6期研修計画5年目として、研修主題である「教育活動活性化に向けた学校事務の実現」のために、自ら実践したことを発信する力の育成に取り組みました。今年度は「伝えよう 伝えあおう」をテーマに、研究部と連携をとりながら、研修講座を2回企画し開催しました。

第1回研修講座では、Will Staffの長谷川聡子さんをお招きし、職員や地域の方との信頼関係を構築できるコミュニケーション術についてご講演いただき、会員の方からも好評をいただきました。

第2回研修講座では、日本大学の末富芳准教授にお越しいただき、学校財務の現状と課題について、公費と私費の視点から、共同実施や学校マネジメント等について、研究者ならではの考察を聞くことができました。

また、亀山・度会・鈴鹿の3支部から、それぞれの実践を伝えあう場を持つことができました。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

また、11月に伊賀市において、第50回県大会兼第45回東海大会を開催しました。三重県からは鳥羽支部が「未来へつながる私たちの研修のあり方」をテーマに分科会発表をしました。多くの方に参加いただき、ありがとうございました。

いただいたアンケートのご意見・ご指摘を今後活かしていきます。来年度の研修講座にご期待ください。

### 情報部

本年度情報部では、調査活動、広報活動、「事務の手引」の編集、ホームページの管理・運営を行ってきました。調査活動では、共同実施について県内の実施状況調査と県内支部研究状況調査を行いました。また、全事研主管の5月期調査と11月期調査を県内各支部・各市町教育委員会の協力のもと実施しました。広報活動では、三事研広報を年6回発行し、研修講座の報告、全国大会や東海大会伊賀大会の案内や参加報告等を掲載しました。

また、会員の交流を図るため、広報誌「ひろば」を発行しました。「事務の手引」編集委員会は、分かりやすく使いやすい手引をめざして編集を進めました。ホームページ委員会は組織、各部の活動内容の紹介をはじめ、「三事研広報」や研究大会の案内等を掲載し、情報の発信に努めました。

今年度いただいた「三事研活動内容アンケート」の貴重なご意見を、今後の情報部の活動に活かしていきたいと思っております。一年間、情報部の活動にご協力ありがとうございました。

